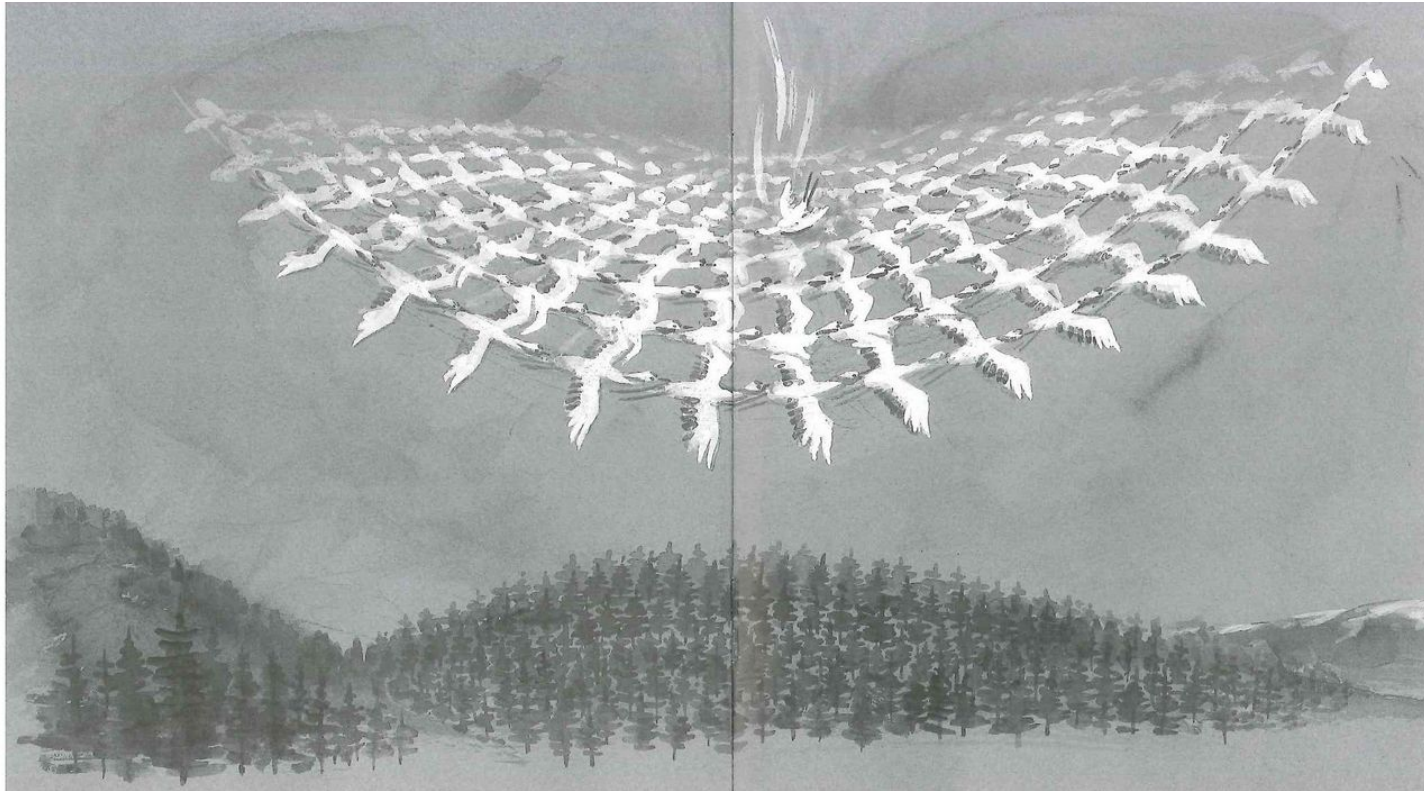


そして、  
おちていく<sup>こ</sup>子どものツルを、  
おいぬくと、  
くろぐろとつづく<sup>だいしんりん</sup>大森林の  
ま<sup>うえ</sup>上あたりで、  
九十九羽<sup>きゅうじゅうきゅうわ</sup>のツルは、  
さっとはねをくんで、  
いちまいの<sup>しろ</sup>白いあみ  
となったのです。



すばらしい<sup>きゅうじゅうきゅうわ</sup>九十九羽のツルの  
きよくげいは、みごとに、  
あみ<sup>うえ</sup>の上に、  
<sup>こ</sup>子どものツルをうけとめると、  
そのまま<sup>そら</sup>空へ  
まいあがりました。